

性感染症の発生状況(4月分)

(県内16観測医の報告分)

疾病名	報告数	発生状況
性器クラミジア感染症	50 (62)	
性器ヘルペスウイルス感染症	27 (19)	新型コロナウイルス感染症発生に伴うBCPにより、当月分の委員による分析は行っておりません。
尖圭コンジローマ	10 (11)	
淋菌感染症	8 (11)	

※()内数値は前月報告数

※報告数は県内16箇所の指定届出医療機関からの届出数であり、県内の発生総数ではありませんのでご注意ください。

※性感染症について

性器クラミジア感染症	潜伏期間は1～3週間。女性では、おりものが増える程度。しかし放置すると不妊症の原因となる。男性では排尿痛や分泌物の増加がみられることもあるが、淋病に比べて症状は軽い。
性器ヘルペスウイルス感染症	潜伏期間は2～10日。性器に痛みを伴う水疱や浅い潰瘍ができる。再発することが多い。
尖圭コンジローマ	潜伏期間は数週間～数か月。性器や肛門などにいぼ状の腫瘍ができる。
淋菌感染症	潜伏期間は3～10日。男性では、激しい排尿痛があり膿が出る。女性では、男性に比べて症状があまりないことが多い。

※STD(性感染症)に感染していると、性器に炎症や損傷がおこりHIV(エイズウイルス)感染が起こりやすくなると考えられます。県内各保健所で匿名、無料にて検査を受けることができます。詳しくは最寄りの保健所にお問い合わせください。

⇒ [熊本県のホームページ「エイズってなあに」](#)を是非ご覧ください。

(「熊本県のホームページ」→「健康・福祉」→「感染症・疾病対策」→「エイズ」→「エイズってなあに」)

健康危機管理課

性感染症の発生状況(4月)

(県内16観測医の報告分)

保健所別発生状況

区 分		合計	熊本	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草
性器クラミジア 感染症	男	32	23		1						5	3	
	女	18	15		1						1	1	
	計	50	38		2						6	4	
性器ヘルペス ウイルス感染症	男	18	15									3	
	女	9	5		2			2					
	計	27	20		2			2				3	
尖圭コンジ ローマ	男	9	6									3	
	女	1									1		
	計	10	6								1	3	
淋菌感染症	男	8	6		1							1	
	女												
	計	8	6		1							1	
計	男	67	50		2						5	10	
	女	28	20		3			2			2	1	
	計	95	70		5			2			7	11	

*は、定点がない地区

年齢別発生状況

区 分		合計	0~ 14	15~ 19	20~ 24	25~ 29	30~ 34	35~ 39	40~ 44	45~ 49	50~ 54	55~ 59	60歳 ~
性器クラミジア 感染症	男	32		3	6	10	5	2	3	1		1	1
	女	18		5	7	4	2						
	計	50		8	13	14	7	2	3	1		1	1
性器ヘルペス ウイルス感染症	男	18				5	2	5		4			2
	女	9			2		1		1	1		1	3
	計	27			2	5	3	5	1	5		1	5
尖圭コンジ ローマ	男	9			3	1	1	1		1	1		1
	女	1			1								
	計	10			4	1	1	1		1	1		1
淋菌感染症	男	8		1	1	1	2	2		1			
	女												
	計	8		1	1	1	2	2		1			
計	男	67		4	10	17	10	10	3	7	1	1	4
	女	28		5	10	4	3		1	1		1	3
	計	95		9	20	21	13	10	4	8	1	2	7